

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
実施結果資料

出雲市の人口動向

(1) 人口の推移

令和2年は国勢調査の人口、令和3～6年は、令和2年国勢調査人口をもとに、島根県が算出した推計人口です。(単位:人)

	R2年国調 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	増減 R6-R2
総人口	172,775	172,871	172,428	170,927	170,677	△2,098
0～14歳	23,382	23,428	23,282	22,945	22,732	△650
15～64歳	97,197	97,109	96,740	95,676	95,603	△1,594
65歳以上	52,196	52,334	52,406	52,306	52,342	146
(75歳以上)	27,284	26,888	27,916	28,855	29,826	2,542

※国勢調査人口は年齢・国籍が不詳であった値(不詳補完値)を含めた人口です。島根県「人口移動調査」では国勢調査人口をもとに毎年10月1日時点の推計人口を算出しています。

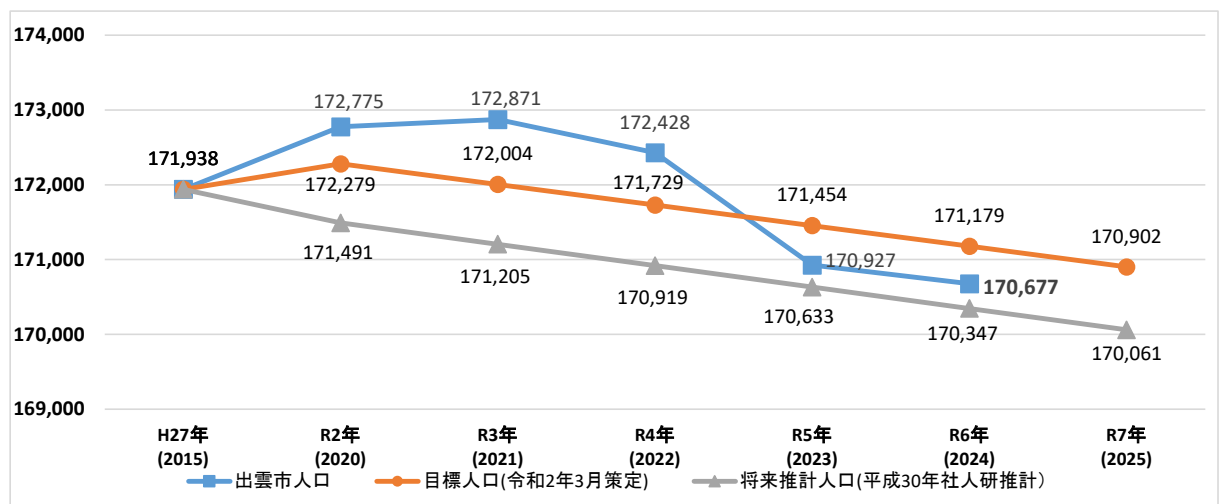
年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加しており、これまでと同様に、少子高齢化が進んでいます。

(2) 目標人口との比較

市では国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が公表した推計人口を基に、市の政策による効果(出生率の上昇、社会増)を見込んで推計した目標人口を設定しています。令和2年3月に策定した目標人口は、平成30年の社人研推計を基にして設定しました。

区分	H27年 (2015)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	R7年 (2025)
出雲市人口	171,938	172,775	172,871	172,428	170,927	170,677	
目標人口(令和2年3月策定)	171,938	172,279	172,004	171,729	171,454	171,179	170,902
将来推計人口(平成30年社人研推計)	171,938	171,491	171,205	170,919	170,633	170,347	170,061

※令和3年～6年の社人研推計及び目標人口は2020年から2025年の人口の増減分を均等配分し設定した人口です。



【令和6年（2024）目標人口との比較】

（単位：人）

	目標人口	人口(実績)	増減数
総数	171,179	170,677	▲ 502
0～14歳	24,081	22,732	▲ 1,349
15～64歳	94,563	95,603	1,040
65歳以上	52,535	52,342	▲ 193
（内訳） 0～4歳	8,144	6,822	▲ 1,322
5～9歳	7,934	7,777	▲ 157
10～14歳	8,003	8,133	130
15～19歳	7,345	7,954	609
20～24歳	7,328	7,152	▲ 176
25～29歳	7,560	7,647	87
30～34歳	8,844	8,768	▲ 76
35～39歳	9,376	9,517	141
40～44歳	10,151	10,477	326
45～49歳	11,609	11,911	302
50～54歳	11,727	11,999	272
55～59歳	10,364	10,183	▲ 181
60～64歳	10,259	9,995	▲ 264
65～69歳	10,723	10,527	▲ 196
70～74歳	11,742	11,989	247
75～79歳	11,420	11,010	▲ 410
80～84歳	7,695	7,734	39
85～89歳	5,984	5,926	▲ 58
90歳以上	4,971	5,156	185

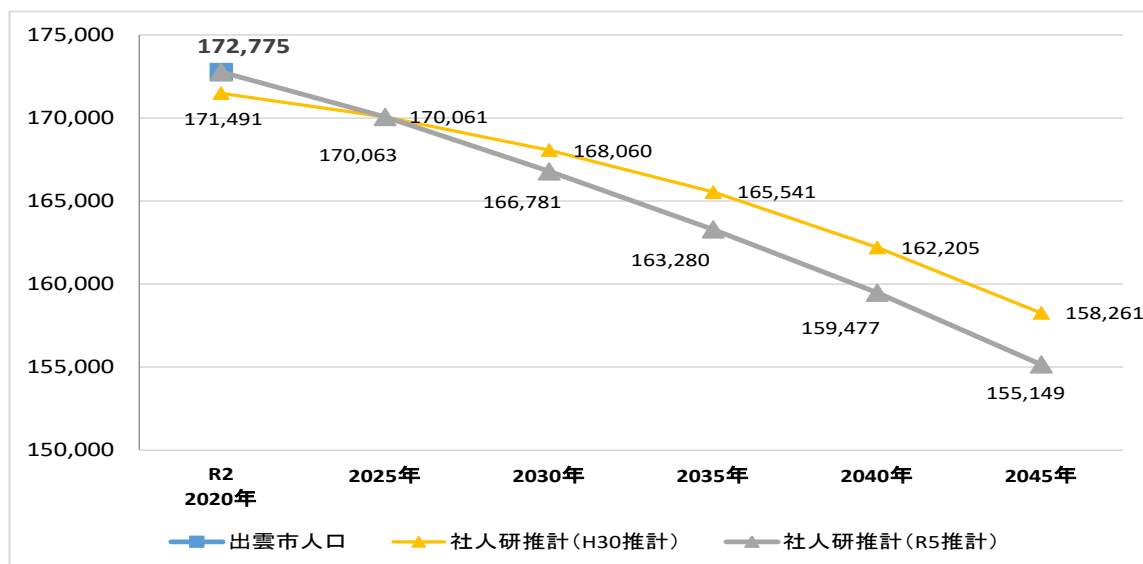
令和6年度の総人口は目標人口を下回りましたが、15歳から64歳までの人口は目標人口を上回りました。

（参考）社人研推計による出雲市の将来人口

社人研は令和5年4月に、令和2年国勢調査の数値を基に推計した新たな将来推計人口を発表しました。

社人研推計人口：社人研が国勢調査による男女・年齢別人口を基準として、出生、死亡、社会移動に関する将来の仮定値を当てはめていく方法（コーホート要因法）により推計した人口。5年ごとの将来人口を公表している。

- ・社人研推計（H30推計）：平成27年（2015）国勢調査を基準とする将来人口
- ・社人研推計（R5推計）：令和2年（2020）国勢調査を基準とする将来人口



(3) 地域・地区別人口の推移

(単位:人)

地域名	令和2年度末	令和6年度末	R6-R2増減	R6-R2増減率(%)
総数	174,708	171,809	▲ 2,899	▲ 1.7
出雲地域	94,520	94,572	52	0.1
今市地区	6,506	6,224	▲ 282	▲ 4.3
大津地区	9,890	10,041	151	1.5
塩冶地区	15,681	15,525	▲ 156	▲ 1.0
古志地区	1,995	2,037	42	2.1
高松地区	10,619	10,938	319	3.0
四絡地区	12,385	12,697	312	2.5
高浜地区	3,778	3,838	60	1.6
川跡地区	10,159	10,428	269	2.6
鳶巣地区	1,610	1,574	▲ 36	▲ 2.2
上津地区	1,143	1,045	▲ 98	▲ 8.6
稗原地区	1,642	1,468	▲ 174	▲ 10.6
朝山地区	1,683	1,549	▲ 134	▲ 8.0
乙立地区	565	477	▲ 88	▲ 15.6
神門地区	8,129	8,399	270	3.3
神西地区	3,649	3,503	▲ 146	▲ 4.0
長浜地区	5,086	4,829	▲ 257	▲ 5.1
斐川地域	29,985	30,214	229	0.8
莊原地区	7,445	7,430	▲ 15	▲ 0.2
阿宮地区	436	375	▲ 61	▲ 14.0
出西地区	5,000	5,260	260	5.2
伊波野地区	6,735	6,996	261	3.9
直江地区	3,956	3,965	9	0.2
久木地区	2,459	2,386	▲ 73	▲ 3.0
出東地区	3,954	3,802	▲ 152	▲ 3.8

地域名	令和2年度末	令和6年度末	R6-R2増減	R6-R2増減率(%)
平田地域	24,420	22,732	▲ 1,688	▲ 6.9
平田地区	6,664	6,374	▲ 290	▲ 4.4
灘分地区	3,325	3,115	▲ 210	▲ 6.3
国富地区	2,904	2,724	▲ 180	▲ 6.2
西田地区	1,578	1,426	▲ 152	▲ 9.6
鰐淵地区	589	520	▲ 69	▲ 11.7
久多美地区	2,101	2,029	▲ 72	▲ 3.4
桧山地区	1,326	1,246	▲ 80	▲ 6.0
東地区	2,427	2,188	▲ 239	▲ 9.8
北浜地区	1,015	888	▲ 127	▲ 12.5
佐香地区	1,260	1,124	▲ 136	▲ 10.8
伊野地区	1,231	1,098	▲ 133	▲ 10.8
佐田地域	3,073	2,717	▲ 356	▲ 11.6
須佐地区	1,744	1,523	▲ 221	▲ 12.7
窪田地区	1,329	1,194	▲ 135	▲ 10.2
多伎地域	3,289	3,087	▲ 202	▲ 6.1
湖陵地域	5,153	4,805	▲ 348	▲ 6.8
大社地域	14,268	13,682	▲ 586	▲ 4.1
遙堪地区	2,273	2,165	▲ 108	▲ 4.8
荒木地区	6,047	5,988	▲ 59	▲ 1.0
大社地区	5,163	4,844	▲ 319	▲ 6.2
日御碕地区	599	536	▲ 63	▲ 10.5
鵜鷺地区	186	149	▲ 37	▲ 19.9

出典)住民基本台帳人口

- ・ 出雲及び斐川地域では人口が増加しています。
- ・ 平田、佐田、多伎、湖陵及び大社地域では人口が減少しています。
- ・ 地区別では、出雲地域、斐川地域の10地区で増加している一方で、その他の33地区、特に山間部や海岸部での減少傾向が顕著となっています。

人口が増加傾向にある地域と減少傾向にある地域があり、その傾向は年々顕著になっています。

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に係る実施結果

(1) 総合戦略の基本目標に係る実施結果

基本目標	数値目標 (R2～R6)	実績値 (R2～R6)
(1)出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する	雇用創出 (5年間) 1,000人	1,867人 (令和6年度実績406人)
(2)出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる	社会増〔転入－転出〕(5年間) 1,600人	1,739人 (令和6年度実績530人)
(3)出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる	出生数(5年間) 8,000人	6,702人 (令和6年度実績1,242人)
(4)住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90%	89.1% (R5年度調査結果より)
(5)広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす	中海・宍道湖・大山圏域人口60万人の維持	62.2万人 (R7年3月末住民基本台帳人口)

※(5)は、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」の構成市の共通目標

(2) 基本目標毎の重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

	指標数	評価・達成率					その他※
		A 100%以上	B 99～80%	C 79～60%	D 59%以下	合計	
合計	101	30	34	17	13	94	7
基本目標(1)	20	5	7	3	4	19	1
基本目標(2)	10	7	0	2	1	10	0
基本目標(3)	42	12	18	3	3	36	6
基本目標(4)	23	6	8	6	3	23	0
基本目標(5)	6	0	1	3	2	6	0

※ 現時点で実績値が確定しない、または実績値を把握することが困難等により評価検証ができなかった項目

【評価方法】 令和6年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定

「R6年度目標値」に対する令和6年度実績値の達成率

A：10割以上、B：8割以上10割未満、C：6割以上8割未満、D：6割未満

【目標達成率の算出方法】

令和6年度の実績値÷令和6年度の目標値×100

基本目標（１） 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標	雇用創出数（５年間） 1, 000人 ＜参考＞ 単年度平均 1,000人÷5年=200人
実績値	1, 867人（令和6年度実績406人）

＜実績内訳＞

年度	雇用創出数 (A)	内訳：雇用等形態		参考	
		創業・自営	正規	非正規 (B)	新規雇用者数 (A) + (B)
R2	345	17	328	22	367
R3	268	25	243	48	316
R4	376	29	347	44	420
R5	472	19	453	46	518
R6	406	18	388	53	459
計	1,867	108	1,759	213	2,080

◎令和2年～6年度 雇用創出数 1, 867人の内訳

- ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの 1, 442人
- ② 出雲ブランド認定企業によるもの 204人
- ③ 空き店舗対策によるもの 42人
- ④ 新規就農者支援によるもの 33人
- ⑤ その他（起業支援、林業及び漁業新規就業支援等） 146人

参考：令和6年度 雇用創出数 406人の内訳

- ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの 313人
- ② 出雲ブランド認定企業によるもの 59人
- ③ 空き店舗対策によるもの 8人
- ④ 新規就農者支援によるもの 6人
- ⑤ その他（企業支援、漁業新規就業支援、介護） 20人

企業の新設・増設等が雇用創出に大きく貢献しています。
出雲ブランド商品認定企業での雇用や、空き店舗対策なども効果が表れています。

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	計画策 定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	評価	達成率	
(1) 第一 手 次産業の 育成・確保 と担い	1	認定新規就農者数	人	<div><div></div><div>4.8 (H26～H30 年度平均)</div></div>	5人増 (前年対比) 8	7人増 (前年対比) 9	7人増 (前年対比) 10	7人増 (前年対比) 4	7人増 (前年対比) 6	B	85.7%	
	2	集約した施業団地数	団地	<div><div></div><div>—</div></div>	1 1	1 1	1 1	1 1	5 (5年間) 1 (5年間)	D	20.0%	
	3	学校給食地産地消費率	%	<div><div></div><div>60.0</div></div>	60.6 59.6	61.2 59.7	73.5 72.1	74.0 69.2	75.0 72.5	B	96.7%	
(2) 出雲 ブランドの 活用	4	出雲ブランド商品認定数（累計）	商品	<div><div></div><div>22</div></div>	26 27	29 28	29 28	30 26	39 29	C	74.4%	
	5	「おいしい出雲」認定数（累計）	商品	<div><div></div><div>162</div></div>	166 114	170 122	137 133	142 108	150 118	C	78.7%	
(3) 滞 在型観光の 充実とイン バウンドの 推進	6	観光入込客数（暦年 1月～12月）	万人	<div><div></div><div>1,162</div></div>	1,170 879	1,177 853	1,000 1,050	1,100 1,209	1,200 1,172	B	97.7%	
	7	宿泊者数 （暦年 1月～12月）	万人泊	<div><div></div><div>74.7</div></div>	79.8 55.0	84.8 58.0	70.0 72.0	75.0 84.0	80.0 85.0	A	106.3%	
	8	外国人宿泊客数（暦年 1月～12月）	人泊	<div><div></div><div>7,875</div></div>	10,300 2,114	12,725 1,244	1,200 1,581	6,000 7,348	12,000 11,547	B	96.2%	
	9	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	<div><div></div><div>101</div></div>	103 31	105 43	100 82	100 100	103 105	A	101.7%	
(4) 地場企業 への支援	10	技能検定受検者数	人	<div><div></div><div>—</div></div>	70 —	70 —	70 —	70 —	350 (5年間) —	—	—	
	11	島根大学との共同開発件数	件	<div><div></div><div>34 (H27～H30 年度累計)</div></div>	6 9	6 7	6 6	6 6	30 (5年間) 28 (5年間) R6:0	B	93.3%	
	12	創業者数	件	<div><div></div><div>37件/年</div></div>	40 51	40 57	131 163	165 230	200 (5年間) 288	A	144.0%	
	13	ビジネスマッチングにおける商談成約件数（累計）	件	<div><div></div><div>53件 (H26～H30 年度平均)</div></div>	53 31	53 9	115 82	212 123	265 (5年間) 134 (5年間)	D	50.6%	
	14	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	<div><div></div><div>75.9 (H31年3月 卒業生)</div></div>	76.32 79	78.34 83	83 84	82 78	82 78	B	94.6%	
		就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率	%	<div><div></div><div>61.9 (H31年3月 卒業生)</div></div>	63.5 63.0	65.1 66.3	67.5 67.0	68.8 64.9	70.0 63.7	B	91.0%	
(5) 企 業 進 誘 致	15	製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	件/年	<div><div></div><div>33 (H26～H30 年度累計)</div></div>	6 4	6 7	7 5	7 6	7 (33件) 4 (26件)	D	57.1%	
(6) 地域 の産業を支 える人材の 確保	16	市内ソフト系IT企業従事者数	人	<div><div></div><div>330人 (R元年度)</div></div>	360 423	390 455	478 514	501 541	525 599	A	114.1%	
	17	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	No. 14と同様								
		就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率	%									
	18	県外交流会参加学生数	人	<div><div></div><div>50 (R元年度)</div></div>	50 0	50 0	50 16	50 26	250 (5年間) 48 (5年間)	D	19.2%	
	19	職場定着向上支援セミナー受講者数	人	<div><div></div><div>236 (H27～H30 年度累計)</div></div>	100 50	100 66	100 70	100 87	500 (5年間) 379 (5年間) R6:106	C	75.8%	
職場定着向上支援セミナー実施回数		回	<div><div></div><div>2</div></div>	3 3	3 3	3 3	3 3	3 3	A	100.0%		

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
20	5	7	3	4	1

(1) 第一次産業の活性化と担い手の育成・確保

① 認定新規就農者数〔評価：B〕

他産業の雇用条件の改善や賃金の上昇などが影響し、認定新規就農者数は目標を下回りました。積極的に就農イベントへ参加し、情報発信に努めたことで、就農相談件数は増加傾向にあることから、引き続き、出雲市の農業への関心を高め広く周知の機会を増やしてきます。

② 集約した施業団地数〔評価：D〕

初回事業地に設定した多伎町奥田儀団地内の森林経営の再委託モデル地区において、計画の途中段階における森林作業道ルートの見直しや、地権者との交渉に不測の日数を要したことから、以降の団地設定が計画どおりに実施できず、事業進捗に遅れが生じ、施業団地数は目標を下回りました。

今後は、初回事業地の進捗状況や「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」の具体的実施個所の検討に合わせ施業団地の設定を検討していきます。

(2) 出雲ブランドの活用

④ 「出雲ブランド商品認定数」〔評価：C〕

令和6年度は、近年の年間認定数を上回りましたが、過年度の認定数が少なかったため、累計では目標値を下回りました。今後は、認定事業者にとってよりメリットのある制度への変更を検討するとともに、認定しうる商品の掘り起こしに取り組んでいきます。

⑤ 「おいしい出雲認定数」〔評価：C〕

令和5年度から新しい認定期間が始まり、前の認定期間での商品認定をリセットし、新しく認定申請を募集しました。申請に際し、「認定のメリットが感じられない」、「認定に係る経費の削減」等の理由で申請数が減ったことにより目標を下回りました。ミライビジネスいずもでは食品製造事業者のワーキンググループが立ち上がっており、これらの事業者からの意見を聴くなどして魅力ある施策を検討していきます。

(3) 滞在型観光の充実とインバウンドの推進

⑥ 観光入込客数〔評価：B〕

周遊型観光の推進、着地情報や体験型コンテンツの充実、SNSを用いた情報発信等に取り組みました。一方、令和6年7月に、県道大社日御碕線で道路崩落が発生し、約2か月間、日御碕地区への一般車両通行ができず、観光入込客数が減少し、観光入込客数は、目標値を下回りました。

今後も多様なメディアに向けた継続的な情報発信を行うことで、出雲への興味関心を喚起し、国内外からの誘客を呼び込みます。

⑧ 外国人宿泊客数〔評価：B〕

令和4年、5年は、コロナ禍が明けたことによる観光需要の高まりや円安の影響により外国人観光客が増加し、目標を上回りました。令和6年はターゲット国として情報発信や商談等の取組を実施してきた台湾やフランス等の宿泊者数の増加により、概ね目標を達成できました。今後は、広域連携も進めながら、メディアや旅行会社の認知向上を図り、宿泊客数の増に向けて引き続き取り組んでいきます。

(4) 地場企業への支援

⑪ 島根大学との共同開発件数〔評価：B〕

令和2年度から令和5年度を中心に、コロナ禍によりマッチング会などが行えず、医工連携自体のアピールができませんでした。そのため、令和6年度はマッチング会を行わず、医工連携の取組を周知するためのセミナーを開催したことにより、目標値を下回りました。今後は、商談会を主催するミライビジネスいずもを中心に、参加企業や参加するバイヤー増加に向け、広報活動などを積極的に行います。

⑭ 就職を希望する市内高校新卒者の県内/市内就職率〔評価：B〕

地場企業の人材確保については、高校の進路指導を担当する教員を対象に、採用情報の提供、企業との情報交換会を実施しました。また、生徒を対象として、企業見学会、企業ガイダンス等を行いました。コロナ禍で地元回帰の機運が高まりましたが、5類移行後は県外での就職志向が強くなり、令和5、6年度は目標を下回りました。今後も、より多くの高校生に地元就職を希望してもらえるようイベント等の内容を工夫し取り組みます。

(5) 企業誘致の促進

⑮ 製造業・ソフト産業の立地計画認定件数〔評価：D〕

県企業立地課とともに、企業の新增設促進のために企業訪問等を行いました。また、名古屋常駐の企業誘致専門員を配置し、中京圏域企業の立地促進に向けた企業訪問やセミナー開催など誘致活動を行いました。その他、(株)PeopleCloudと連携し、首都圏を中心としたIT企業の新規立地を働きかけましたが、昨今の物価高騰や慢性的な人材不足などから新增設に慎重になっている企業が多く、目標値は下回りました。引き続き県とともに、誘致企業へのフォローアップ訪問を実施し、立地済み企業の増設を働きかけます。また、(株)PeopleCloudとともに首都圏企業に対し、Izumonomadへの新規立地を含め積極的に働きかけ、市外企業の誘致と雇用の場の確保を進めていきます。

(6) 地域の産業を支える人材の確保

⑯ 県外交流会参加学生数〔評価：D〕

令和2～3年度はコロナ禍により中止となり、令和4年度から再開しましたが、参加者数は目標を下回りました。長く続いたコロナ禍により、求職活動がオンライン中心に移行し、対面での交流に消極的になっていること、また、全国的な人手不足により、都会地での人材獲得競争が激化していることも要因と考えます。今後は、交流会の内容を見直し、学生が参加したいと思う内容のイベントを開催するよう取り組みます。

【デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用】

事業名	「～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり」		
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業概要	<p>観光振興により本市が目指す姿・価値として、 ①周遊滞在・消費促進、高付加価値化、通年化などによる「出雲力を生かした経済効果の最大化」、 ②中山間振興や産業振興、関係人口の創出、自然や文化の継承など、観光を活用して多様な地域課題へ貢献すること、 の2点を掲げ、次の5本柱を重点施策として取り組んでいく。</p> <p>【1. 周遊滞在・消費環境の整備】 観光施設情報や交通情報等の面的DXを推進するとともに、出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」のバスプランや自転車ツーリズムの強化、グリーンスローモビリティの運行など、周遊・消費を促す情報整備と移動円滑化を図る。</p> <p>【2. 戦略的コンテンツの充実、高付加価値化】 「365日楽しめる出雲」と「第二のふるさと出雲」をテーマとし、自然・歴史文化・食・人の温かさや、観光DXなど、出雲力を生かしたコンテンツの造成・集積・高付加価値化を進め、域内消費の拡大と関係人口創出につながるよう、地域の取組とも連携して分野横断的に取り組む。</p> <p>【3. 個人とつながる情報発信等による出雲ファン獲得】 SNS「izumo365」（仮称）を開設し、ファンの獲得・分析・個人の関心に沿った情報提供を行うとともに、新たに出雲に縁を持たれた方への情報提供を強化し、リピーターの獲得や、出雲を「第二のふるさと」として貢献してくれるような関係人口の増加をめざす。</p> <p>【4. 2025大阪・関西万博を見据えた国内外旅行者の誘客】 海外メディアや旅行会社等との関係強化によって、国際的なIZUMOの認知度向上と来訪を促進するとともに、市場が拡大するアドベンチャーツーリズムやハイエンドトラベルの造成にも取り組む。また、国内旅行者も含め、大阪・関西万博の機会を生かした誘客にも取り組む。また、出雲市には空港はあるが国際便がないため、離れたゲートウェイから出雲までの来訪ルート・プランを含めた具体的かつ戦略的な誘客に取り組む。</p> <p>【5. 地域の総力戦で臨む観光地経営体制の構築】 これらの取組を実施し、地域と観光客がwin-winとなる持続可能な観光地域づくりを推進するためには、地域の総力戦で臨む観光地経営体制の構築が必要となることから、分野横断的な庁内推進本部を立ち上げた上で、広域的な連携を含め官民の多様な業種の関係者との情報共有・連携強化を図るとともに、地域DMOの設立に向けた検討とあわせ、地域や事業者が自らデータに基づきマーケティングを行える体制の構築を図る。</p>		
事業費	84,183,358円（うち交付金 42,091,678円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和6年度実績	評価
①	宿泊客延べ数 77,434人増（722,566人⇒800,000人）	129,498人増 (852,064人)	A
②	外国人宿泊客延べ数 10,419人増（1,581人⇒12,000人）	9,966人増 (11,547人)	B
③	観光入込客延べ数 1,502,489人増（10,497,511人⇒12,000,000人）	1,220,946人増 (11,718,457人)	B
④	観光消費額 7,471百万円増（45,709百万円⇒53,180百万円）	16,511百万円増 (62,220百万円)	A

- 市内観光施設や事業所の Google ビジネスプロフィール整備を進め、旅行者にとって利便性の高い情報提供環境を構築しました。また、シェアサイクルについては実証実験を実施し、滞在中の移動手段を多様化させることで、周遊性の向上と観光消費の促進につながる基盤整備を進めることができました。
- さらに、2025 大阪・関西万博を見据えた誘客施策として、海外メディアとのリレーションを強化し、国際的な情報発信力を高めることで、インバウンド誘客の基盤を整備しました。
- これらの周遊・滞在・消費環境の整備により、宿泊客数や観光消費額は一定の成果を上げ、地域経済の活性化につながる効果が確認できました。一方で、外国人宿泊客数や観光入込客数は増加傾向にあるものの、依然として目標には達しておらず、今後はインバウンド誘客のさらなる加速や広域的な周遊促進が課題として残されています。
- また、シェアサイクルをはじめとする二次交通施策は、持続可能な観光地域づくりに不可欠であり、引き続き利便性の向上に取り組む必要があると認識しています。

事業名	縁結びデジタルプロモーションによる「出雲ファン」の創出		
事業期間	令和4年度～令和6年度		
事業概要	<p>各ウェブサイトのハブとなる専用ウェブサイトから、各ウェブサイトへ閲覧者を誘導するものと、インターネット広告から直接各分野のウェブサイトへ誘導する2つの仕組みにより、異なるファン層に対して、より効果的なプロモーションとなるよう取組を進める。</p> <p>【専用ウェブサイトから各ウェブサイトへの誘導】</p> <p>「出雲」「移住・定住」「観光」「就職」などをキーワードに、出雲に興味を持ちそうな人（潜在的な出雲ファン）に対して、インターネット広告を出し、専用ウェブサイトへ誘導。専用ウェブサイトから、閲覧者が興味のある分野のウェブサイトの閲覧に繋げる。</p> <p>【インターネット広告からの各ウェブサイトへの誘導】</p> <p>各ウェブサイトの最新の情報を、閲覧者の年代、居住地、性別、嗜好などの情報から、より明確にターゲットを絞ってインターネット広告を出し、各ウェブサイトへ直接誘導する。各ウェブサイトでは観光、移住・定住、就職などに関する具体的な情報を提供することで、観光客、移住・定住者、産品購入者等の増加に繋げる。</p> <p>【共通】</p> <p>インターネット広告の掲載状況及びウェブサイトへの誘導の状況を毎月分析し、ターゲット選定の条件や、広告掲載媒体を見直すことによって、より高い効果を得る。</p> <p>これらの取組を通じて、各ウェブサイトの閲覧数の増加を図り、出雲に興味・関心を持つ人を増やすことで、出雲のファンを「交流人口」から「関係人口」、「定住人口」へとつながる裾野の拡大をめざす。</p>		
事業費	10,324,600円（うち交付金 5,162,300円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和6年度実績	評価
①	県外（国内）からの転入者数 360人増（2,646人⇒3,006人）	186人増 (2,832人)	D
②	観光入込客数 321万人増（8,788,358人⇒11,998,358人）	293万人増 (11,718,457人)	B
③	ウェブサイトの閲覧件数 44.1万件増（41万件⇒85.1万件）	42.3万件増 (83.3万件)	B

- 令和6年度は、令和5年度に改修したランディングページとの統一感を持たせた動画広告を新たに作成、配信し、出雲に興味のある人へ確実に情報を届けることで、専用ウェブサイトへの誘導へ繋がりました。ウェブサイトの閲覧件数については、最終目標には到達しなかったものの、閲覧数は当初に比べて約2倍に増加し、効果的な情報提供が行えました。
- しかしながら、広告から各サイトへたどり付いた閲覧者が、最終的に移住や特産品の購入といった具体的な行動を起こしたどうかの検証が困難であることから、この事業については、今後実施する新しいシティプロモーション戦略において今後の事業内容を検討することとしました。

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト		
事業期間	令和2年度～令和6年度（島根県ほか90自治体で申請、出雲市は令和4年度から参加）		
事業概要	<p>1. 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢をつくる 【地域みらい留学】 地方の高校進学への推進に向けて、都市部の学校への網羅的なチラシ配布・WEB広告・メディア掲載・学習塾ネットワークへの告知・地域留学卒業生及び保護者からの口コミ等によるプロモーションを実施。さらなる興味喚起に向けて、都市部において、中学生親子が全国の地域留学在校生・卒業生・保護者の生の声を聞くことができる全国合同説明会を開催する。</p> <p>2. 高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる 【高校×地域】 公教育の場へ多様なセクターの参入を積極的に促し、「高校と地域の協働による魅力ある教育環境づくり」を展開する。地域で挑戦する子どもたちの裾野を中学以前まで広げ、高校時代の取組にしっかりと接続させる。合わせて、こうした取組を推進する教員の時間の確保や地域外生徒の受入環境の整備などプロジェクト推進を支える環境を整える。</p> <p>3. 高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる 【卒業生関係人口化】 高校卒業生が、進学や就職を機に地域を飛び出した後も、母校や地域に関わり続けるための機会やコミュニティをつくり、将来的な人材還流や濃い関係人口にしていくための仕組みをつくる。</p>		
	<p>4. 共学共創により全国へスケールアウトさせる (1)「高校魅力化評価指標」を導入・実装することで地域と連携した取組の価値を見える化し、全国の自治体へ価値を発信 ・「高校魅力化評価指標」とは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングと（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが共同開発した、生徒の「主体性」「協働性」「探求性」「社会性」の変容具合を数値化したもの ・各高校で導入し、各高校での取組の価値を数値化し、全国に向けて展開 (2)「地域みらい留学」「地域×高校」「卒業生関係人口化」の実践を磨く全国規模の研修 ・交流会を開催 ・「地域みらい留学フェスタ」と同時開催（経費はフェスタ開催負担金に含む）</p>		
事業費	全体事業費 1,670,686千円（うち交付金 835,326千円） ※うち出雲市分の事業費 5,501,966円（うち交付金 1,309,000円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和6年度実績	評価
①	「高校を核とした関係人口」の数 1,909人増（3,176人⇒5,085人）	2,403人増 (8,684人)	A
②	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 1,353人増（2,543人⇒3,896人）	1,300人増 (5,646人)	B
③	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数 581件増（476件⇒1,057件）	660件 (2,401件)	A
④	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 27団体増（66団体⇒93団体）	26団体 (145団体)	B

- 出雲市は事業概要のうち、3のみに取り組みました。県外へ進学した学生の地元就職促進及びつながりづくりを目的に、市内や県外での学生と若手社員との交流会、企業見学会を実施しました。また、学生就職サポーターによる相談対応や情報発信を行いました。
- 近年、対面式イベントへの学生参加者が減少してきていますが、イベント参加後のアンケート結果においては、地域や地元企業の魅力について関心を持った参加者が多く、地元就職への意識向上に繋がっています。
- プロジェクト全体としては、90の参加自治体の合計値により、「高校を核とした関係人口」の数がKPIを達成しました。今後も学生が参加しやすいイベントの開催することで、関係人口の増加に努め、学生の地元就職者数を増やしていく取組を行います。

【地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用】

〔認定地域再生計画名〕

出雲市まち・ひと・しごと創生推進計画

〔寄附実績〕

（単位：千円）

No.	寄付企業 (所在地)	R 6 寄附金額	充当事業
1	ポート株式会社 (東京都新宿区)	100	学生地元支援事業
2	株式会社建和 (東京都練馬区)	100	海岸漂着ごみ回収事業
3	株式会社舞昆のこうはら (大阪府大阪市住之江区)	500	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
4	株式会社コラントッテ (大阪府大阪市中央区)	7,000	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
5	株式会社高木包装 (奈良県葛城市)	500	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
6	Z E R O U M株式会社 (東京都新宿区)	100	トキによるまちづくり事業
7	ONE株式会社 (旧企業名：合同会社1) (東京都渋谷区)	100	トキによるまちづくり事業
8	ボイリク株式会社 (東京都新宿区)	100	トキによるまちづくり事業
9	株式会社井上工務店 (大阪府高槻市)	100	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
10	IKK株式会社 (石川県かほく市)	100	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
11	株式会社青木松風庵 (大阪府泉南郡岬町)	2,000	アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業
12	株式会社サードウェーブ (東京都千代田区)	19,805	ヒト・モノづくり推進事業
	株式会社サードウェーブ (東京都千代田区) 物納（高性能PC等）	2,195	
13	株式会社グリーンフラッグ (大阪府阪南市)	200	①アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業（150千円） ②観光誘客推進事業（50千円）
14	株式会社J Pホールディングス (愛知県名古屋市中村区)	1,400	こどもえがお推進事業 (R7事業に充当)
15	株式会社日本保育サービス (愛知県名古屋市中村区)	1,700	こどもえがお推進事業 (R7事業に充当)
16	株式会社日本保育総合研究所 (愛知県名古屋市中村区)	1,700	こどもえがお推進事業 (R7事業に充当)
17	株式会社ジェイキッチン (愛知県名古屋市中村区)	200	こどもえがお推進事業 (R7事業に充当)
18	株式会社ミトウ 物納（骨伝導集音器＋スタンド） (北海道札幌市北区)	3,864	市役所窓口（福祉、高齢者、医療介 護）及び診療所での円滑な意思疎通 に係る事業
19	株式会社合人社計画研究所 (広島県広島市中区)	1,000	いずも産業未来博支援事業
	合 計	42,764 (うち物納6,059)	

基本目標（２） 出雲との縁をつなぎ、人の流れをつくる

数値目標	社会増（５年間） 1, 6 0 0 人 ＜参考＞ 単年度平均 1, 600 人÷5 年=320 人
実績値	1, 7 3 9 人 （令和 6 年度実績 530 人）

< 実 績 内 訳 >

[社会動態の推移]

(単位：人)

	出雲市						社会増
	転入等			転出等			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
R 2 年度	2, 938	2, 456	5, 394	2, 584	2, 153	4, 737	657
R 3 年度	2, 898	2, 348	5, 246	2, 686	2, 309	4, 995	251
R 4 年度	3, 105	2, 779	5, 884	3, 179	2, 749	5, 928	▲ 44
R 5 年度	2, 908	2, 525	5, 433	2, 674	2, 414	5, 088	345
R 6 年度	3, 040	2, 619	5, 659	2, 739	2, 390	5, 129	530
合計	14, 889	12, 727	27, 616	13, 862	12, 015	25, 877	1, 739

[社会動態の内訳]

(単位：人)

	転入等			転出等			社会増減数		
	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計
R 2 年度	4, 425	969	5, 394	3, 948	789	4, 737	477	180	657
R 3 年度	4, 190	1, 056	5, 246	3, 842	1, 153	4, 995	348	▲ 97	251
R 4 年度	4, 520	1, 364	5, 884	4, 102	1, 826	5, 928	418	▲ 462	▲ 44
R 5 年度	4, 170	1, 263	5, 433	3, 908	1, 180	5, 088	262	83	345
R 6 年度	4, 220	1, 439	5, 659	4, 112	1, 017	5, 129	108	422	530
合計	21, 525	6, 091	27, 616	19, 912	5, 965	25, 877	1, 613	126	1, 739

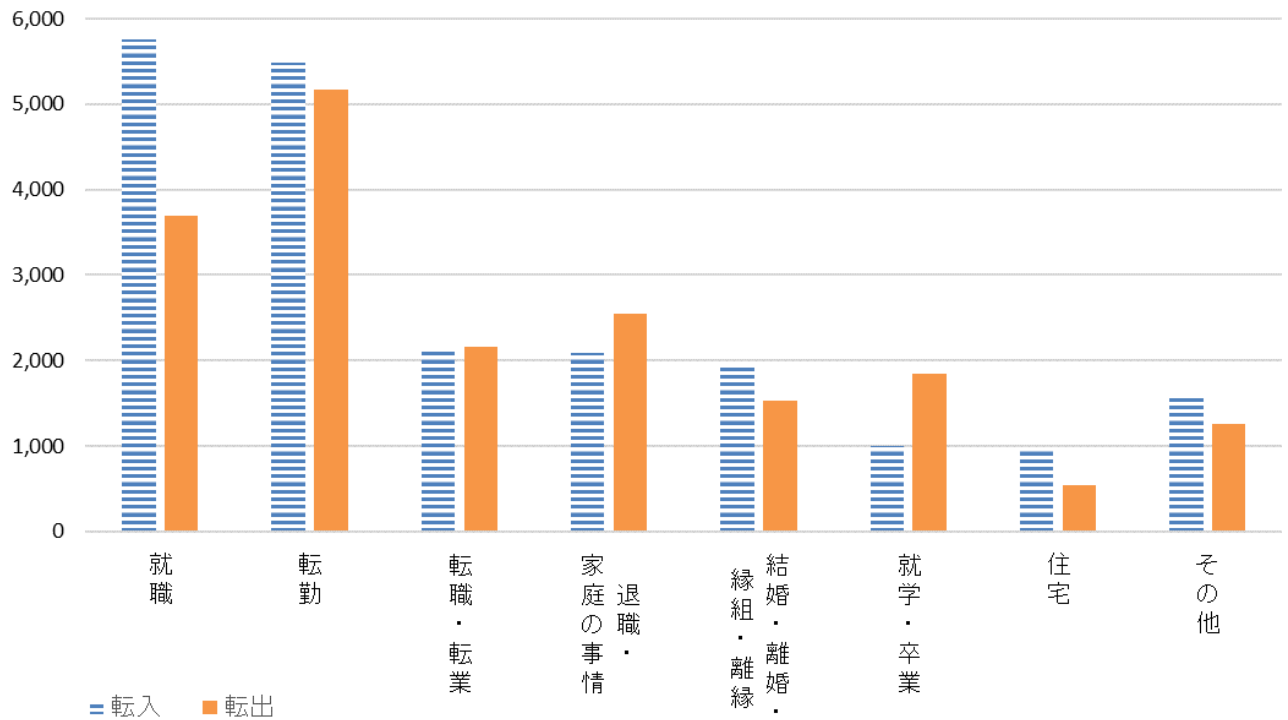
(出典) 住民基本台帳

令和 6 年度は日本人、外国人ともに転入数が転出数を上回る社会増となりました。
期間合計でも、日本人、外国人とも社会増となりました。

<参考データ>

①移動理由別の転入・転出の状況（原因者のみ）

〔令和2年(2020)10月～令和6年(2024)9月〕

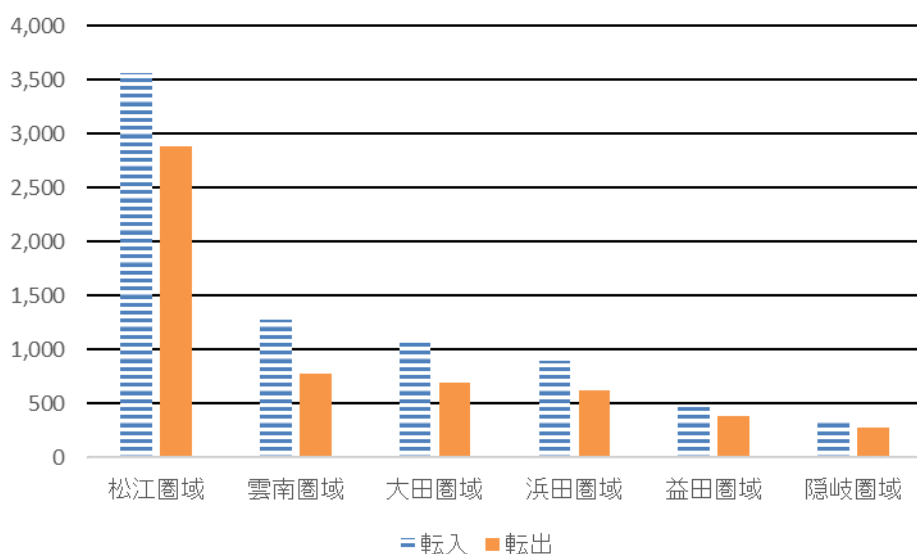


（単位：人）

区分	就職	転勤	転職・転業	退職・ 家庭の事情	結婚・離婚・ 縁組・離縁	就学・卒業	住宅	その他	不詳	合計
転入	5,753	5,485	2,132	2,085	1,945	1,004	939	1,564	58	20,965
転出	3,701	5,177	2,159	2,550	1,529	1,841	541	1,256	1,277	20,031
転入－転出	2,052	308	▲ 27	▲ 465	416	▲ 837	398	308	▲ 1,219	934

（出典）「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

②県内圏域別の人口移動の状況〔令和2年(2020)10月～令和6年(2024)9月〕



(単位: 人)

区分	松江圏域	雲南圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域	県内計
転入	3,560	1,275	1,072	901	490	335	7,633
転出	2,885	773	693	628	385	281	5,645
転入－転出	675	502	379	273	105	54	1,988

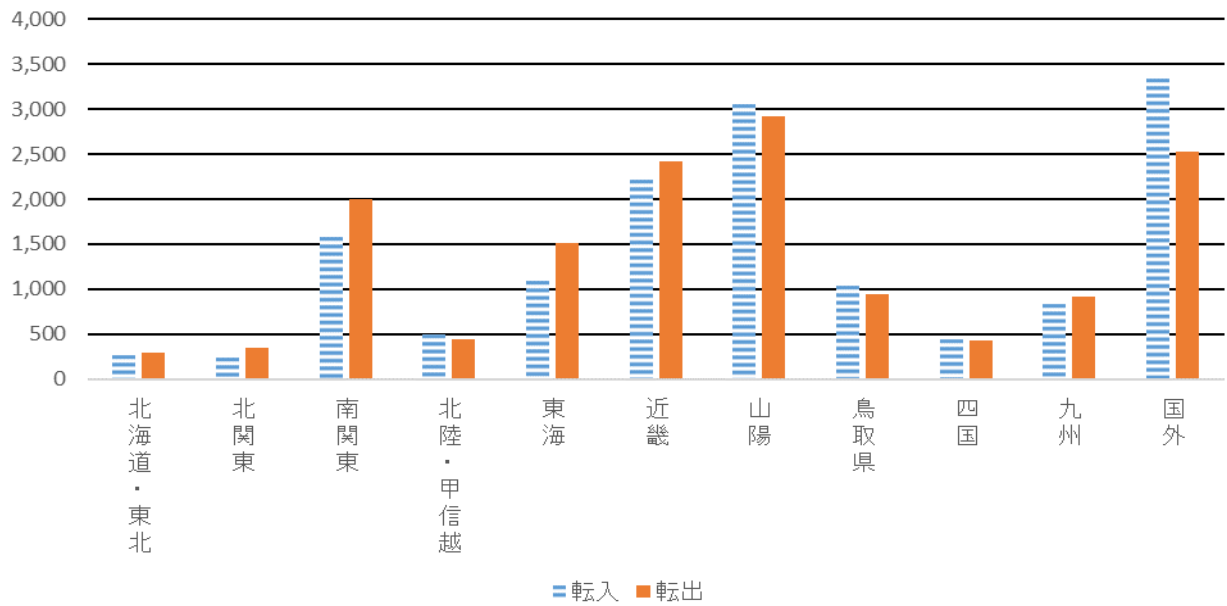
※松江圏域：松江市・安来市
 雲南圏域：雲南市・奥出雲町・飯南町
 大田圏域：大田市・川本町・美郷町・邑南町
 浜田圏域：浜田市・江津市
 益田圏域：益田市・津和野町・吉賀町
 隠岐圏域：海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町

【地域別転出入の状況】

(単位: 人)

	R2.10-R3.9			R3.10-R4.9			R4.10-R5.9		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
松江圏域	897	752	145	957	722	235	893	704	189
雲南圏域	349	198	151	310	211	99	307	185	122
大田圏域	245	176	69	258	185	73	250	164	86
浜田圏域	248	150	98	213	149	64	217	169	48
益田圏域	125	88	37	103	107	▲ 4	122	107	15
隠岐圏域	67	84	▲ 17	68	59	9	94	76	18
総計	1,931	1,448	483	1,909	1,433	476	1,883	1,405	478
	R5.10-R6.9			合計					
	転入	転出	増減	転入	転出	増減			
松江圏域	813	707	106	3,560	2,885	675			
雲南圏域	309	179	130	1,275	773	502			
大田圏域	319	168	151	1,072	693	379			
浜田圏域	223	160	63	901	628	273			
益田圏域	140	83	57	490	385	105			
隠岐圏域	106	62	44	335	281	54			
総計	1,910	1,359	551	7,633	5,645	1,988			

③県外圏域別人口移動の状況〔令和2年(2020)10月～令和6年(2024)9月〕



(単位：人)

区分	国内	北海道・東北	北関東	南関東	北陸・甲信越	東海	近畿	山陽	鳥取県	四国	九州	国外
転入	11,267	264	234	1,576	503	1,096	2,220	3,059	1,035	440	840	3,337
転出	12,221	293	344	1,995	444	1,518	2,415	2,921	943	433	915	2,529
転入－転出	▲ 954	▲ 29	▲ 110	▲ 419	59	▲ 422	▲ 195	138	92	7	▲ 75	808

(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

(単位：人)

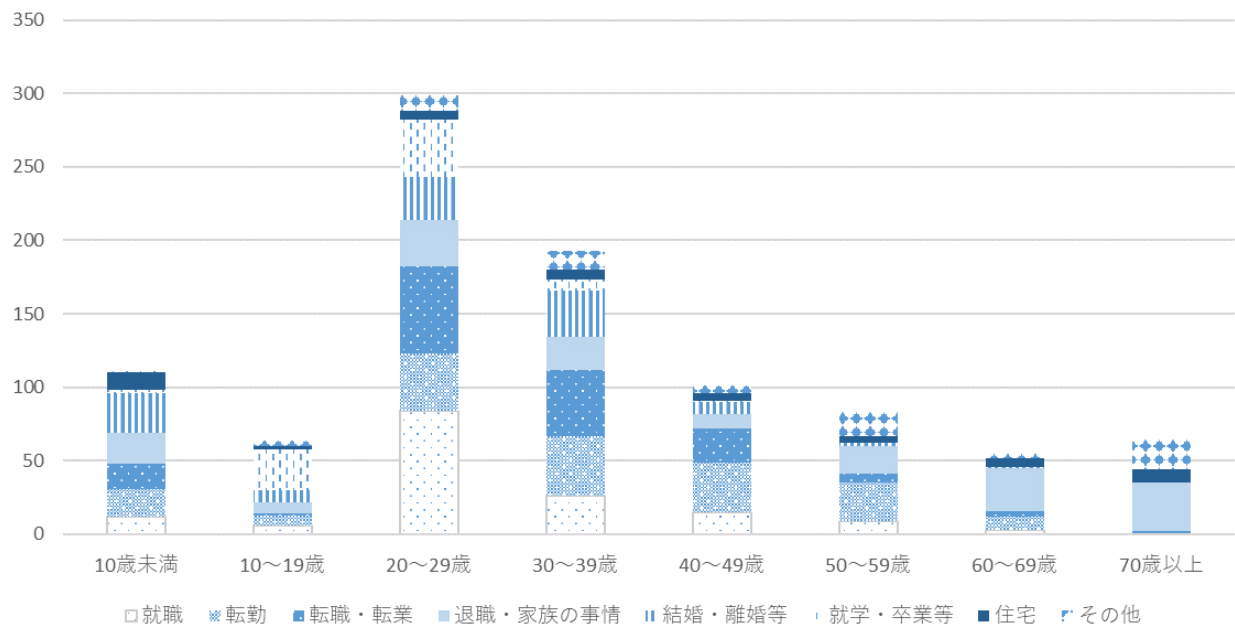
【地域別転出入の状況】

	R2. 10-R3. 9			R3. 10-R4. 9			R4. 10-R5. 9			R5. 10-R6. 9		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
北海道・東北	68	57	11	63	88	▲ 25	65	87	▲ 22	68	61	7
北関東	89	52	37	51	79	▲ 28	35	96	▲ 61	59	117	▲ 58
南関東	410	437	▲ 27	413	523	▲ 110	346	520	▲ 174	407	515	▲ 108
北陸・甲信越	217	125	92	136	127	9	65	78	▲ 13	85	114	▲ 29
東海	345	319	26	224	378	▲ 154	177	536	▲ 359	350	285	65
近畿	595	565	30	545	613	▲ 68	559	615	▲ 56	521	622	▲ 101
山陽	789	717	72	755	713	42	734	811	▲ 77	781	680	101
鳥取県	251	238	13	256	223	33	280	260	20	248	222	26
四国	116	117	▲ 1	110	88	22	106	129	▲ 23	108	99	9
九州	221	209	12	204	251	▲ 47	210	223	▲ 13	205	232	▲ 27
国内	3,101	2,836	265	2,757	3,083	▲ 326	2,577	3,355	▲ 778	2,832	2,947	▲ 115
国外	566	399	167	1,146	784	362	671	774	▲ 103	954	572	382
	合計											
	転入	転出	増減									
北海道・東北	264	293	▲ 29									
北関東	234	344	▲ 110									
南関東	1,576	1,995	▲ 419									
北陸・甲信越	503	444	59									
東海	1,096	1,518	▲ 422									
近畿	2,220	2,415	▲ 195									
山陽	3,059	2,921	138									
鳥取県	1,035	943	92									
四国	440	433	7									
九州	840	915	▲ 75									
国内	11,267	12,221	▲ 954									
国外	3,337	2,529	808									

注) 地域別の構成都道府県は以下のとおり。

地域	構成都道府県
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東	茨城、栃木、群馬
南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
北陸・甲信越	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
山陽	岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

④UIターン者の年代別・理由別の状況〔令和6年度〕



(単位：人)

	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
UIターン数	111	64	302	193	101	83	55	65	974

(出典) 島根県(島根暮らし推進課) 集計データ

【年齢別・事由別の状況】

(単位：人)

	就職	転勤	転職・転業	退職・家族の事情	結婚・離婚等	就学・卒業等	住宅	その他	不詳	合計
70歳以上	0	0	2	33	0	0	9	21	0	65
男	0	0	1	13	0	0	3	8	0	25
女	0	0	1	20	0	0	6	13	0	40
60～69歳	3	9	4	29	1	0	6	3	0	55
男	2	7	3	20	0	0	4	2	0	38
女	1	2	1	9	1	0	2	1	0	17
50～59歳	9	26	6	19	2	0	5	16	0	83
男	6	20	4	8	0	0	2	7	0	47
女	3	6	2	11	2	0	3	9	0	36
40～49歳	15	34	23	10	8	1	5	5	0	101
男	6	26	16	8	2	0	1	2	0	61
女	9	8	7	2	6	1	4	3	0	40
30～39歳	26	41	45	22	32	7	7	13	0	193
男	10	23	29	8	10	5	3	8	0	96
女	16	18	16	14	22	2	4	5	0	97
20～29歳	84	39	59	32	29	39	6	11	3	302
男	43	22	31	18	7	15	2	5	2	145
女	41	17	28	14	22	24	4	6	1	157
10～19歳	6	7	1	8	8	28	2	4	0	64
男	1	5	0	2	3	16	0	2	0	29
女	5	2	1	6	5	12	2	2	0	35
10歳未満	12	19	17	21	27	2	12	1	0	111
男	9	9	8	6	16	0	5	0	0	53
女	3	10	9	15	11	2	7	1	0	58
UIターン総計	155	175	157	174	107	77	52	74	3	974
男	77	112	92	83	38	36	20	34	2	494
女	78	63	65	91	69	41	32	40	1	480

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	計画策 定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	評価	達成率	
(1) 出雲の 魅力発信	20	「いずもな暮らし」及び「出雲人-IZUMOZINE-」ホームページコンテンツアクセス件数（ページビュー数）	万件		49.36	53.52	35.0	36.0	37.0	A	151.4%	
		「出雲人-IZUMOZINE-」		45	10.2	14.3	18.0	16.0	19.8			
		「いずもな暮らし」			17.0	19.0	23.3	40.8	36.2			
	21	図柄入り出雲ナンバー交付枚数	枚		600	5,000	6,000	7,000	8,000	A	138.1%	
	—	3,247	5,054	7,010	9,014	11,048						
(2) 移住促進	22	UIターン就職支援窓口相談者数	人		456	467	392	446	500 （年間 延べ人数）	C	61.2%	
				444	257	338	263	332	306			
	23	移住支援金を利用して移住した世帯数	世帯		5	5	5	5	25 （5年間）	A	120.0%	
				—	3	7	2	8	30 （5年間）			
	24	女性のIターン助成事業利用によるIターン者数	件/年		10	10	20	20	20	C	75.0%	
				49 （H27～H30 年度累計）	18	21	13	21	15			
	25	移住促進住まいづくり助成認定件数	件/年		20.0	10 （リフォーム固定） 10 （固定助成認定数）	10.0	10.0	10.0	A	730.0%	
				83 （H27～H30 年度累計）	30.0	15 （リフォーム固定） 7 （固定助成認定数）	29.0	43.0	73.0			
	26	新婚・子育て世帯UIターン支援助成件数	件/年		—	35	35	35	35	D	51.4%	
				—	—	—	4	4	18			
	27	過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年		—	30	30	30	30	A	103.3%	
				—	—	—	66	42	31			
	28	空き家バンク登録物件数	件		30	30	25	27	150 （5年間）	A	120.7%	
				110 （H26～H30 年度累計）	25	20	27	53	181 （5年間）			
(3) 定住促進	29	過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年	No. 27と同様								
	30	市内大学・専門学校在学生数	人		1,860	1,895	2,000	2,000	2,000	A	100.7%	
			1,825 （H31.4.1 現在）	1,949	2,030	1,882	1,911	2,014				

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
10	7	0	2	1

(1) 出雲の魅力発信

⑳ ホームページコンテンツアクセス数〔評価：A〕

デジタルマーケティングにより好調にアクセス件数を伸ばすことができました。

今後はアクセス件数を伸ばすことだけでなく、既存の掲載情報を含め、コンテンツそのものの魅力を上げていく必要があります。HPの周知、掲載内容の更新を今後も継続していくとともに、より一層の周知を行っていきます。

(2) 移住促進

②② U I ターン就職支援窓口相談者数〔評価：C〕

U I ターン希望者等を対象に、就職相談、職業紹介などを実施しました。U I ターン希望者への就職支援であるため、希望者が少ない年度もあり、目標を下回りました。今後も移住・定住担当部署と連携しながら、相談窓口のPR強化を行い、U I ターン者の増加に取り組めます。

②⑥ 新婚・子育て世帯U I ターン支援助成件数〔評価：D〕

「新婚・子育て世帯U I ターン支援助成」については、令和4年度に新しく始めた助成制度です。周知が不十分だったことから令和4、5年度は、目標を下回りました。徐々に制度が浸透し、令和6年度は申請件数が増えました。

今後も、利用者の意見を聞きながら、ニーズにあった制度への検討を行い、事業を進めていきます。

(3) 定住促進

③⑩ 市内大学・専門学校在学生数〔評価：A〕

地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座や地域活動に在学生が参加し、進学を考える高校生やその保護者に各学校の魅力発信を行いました。学生の地域活動参加等により地元に根付いた出雲の大学や専門学校の魅力を次の世代へ伝承できたことで、目標を達成できました。

基本目標（３） 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標	出生数（５年間）８，０００人 ＜参考＞ 単年度平均 ８,０００人÷５年＝１,６００人
実績値	６，７０２人（令和６年度実績１,２４２人）

＜実績内訳＞

出雲市の自然動態の推移（外国人内数あり）

（単位：人）

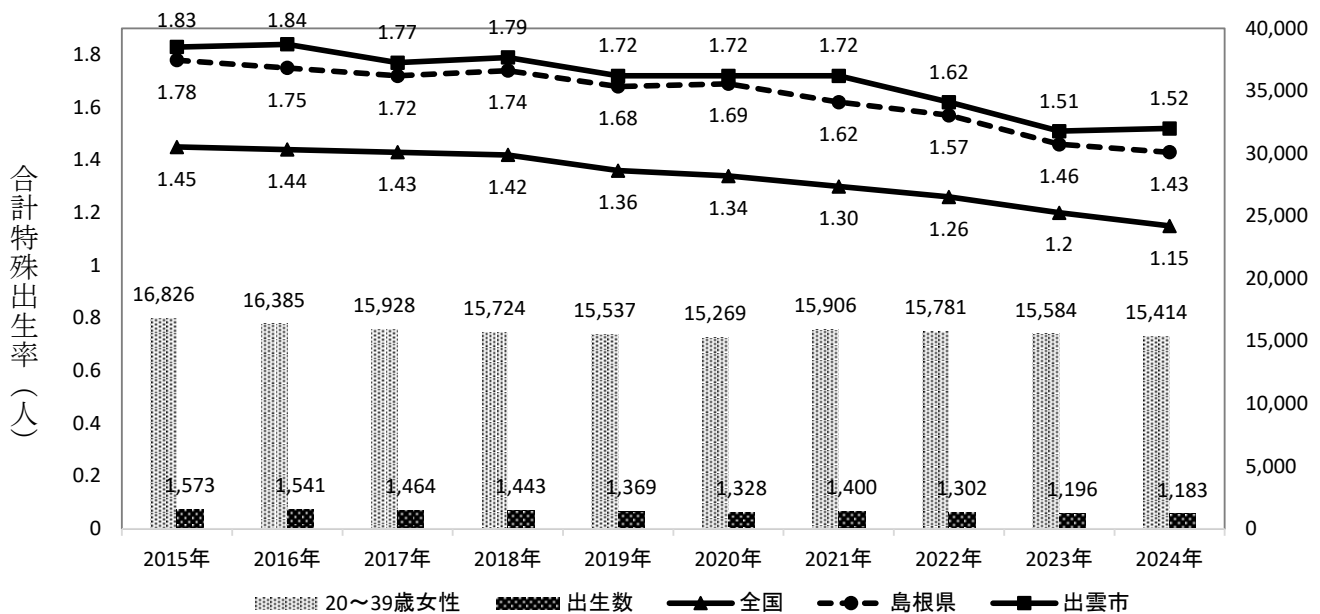
	出生数		死亡数		自然増減数	
		うち外国人		うち外国人		うち外国人
R2年度	1,381	65	2,120	4	▲ 739	61
R3年度	1,490	65	2,223	9	▲ 733	56
R4年度	1,350	70	2,392	4	▲ 1,042	66
R5年度	1,239	66	2,265	5	▲ 1,026	61
R6年度	1,242	74	2,418	5	▲ 1,176	69
合計	6,702	340	11,418	27	▲ 4,716	313

（出典：住民基本台帳）

R６年度の出生数は、前年度とほぼ横ばいとなりましたが、死亡数は増加し、自然減となりました。全国的な傾向と同じように、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向にあり、それに伴い自然減となりました。

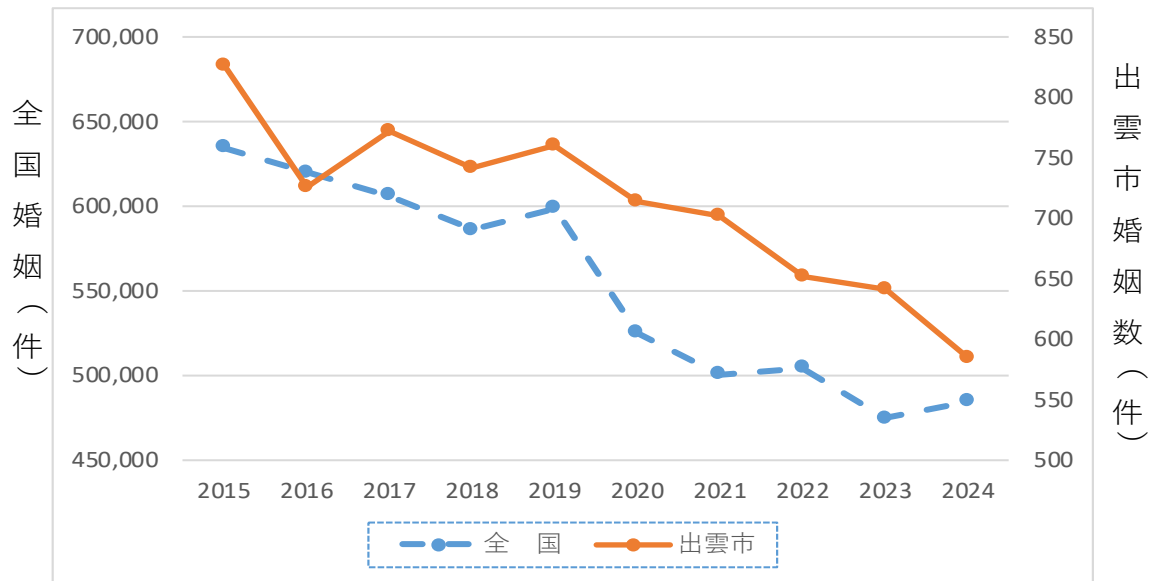
＜参考データ＞

①合計特殊出生率の推移と女性人口（２０～３９歳）・出生数（暦年）



出典：厚生労働省「人口動態統計」及び島根県「島根の人口移動と推計人口」
※出雲市の合計特殊出生率及び出生数は未公表

② 婚姻数の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」
(単位：件)

	H27年 2015	H28年 2016	H29年 2017	H30年 2018	R1年 2019	R2年 2020	R3年 2021	R4年 2022	R5年 2023	R6年 2024
全 国	635,156	620,523	606,866	586,481	599,007	525,507	501,138	504,930	474,741	485,092
出雲市	826	726	772	742	760	714	703	652	642	585

※下段は夫の住所が出雲市であるものの件数

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	計画策 定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末		評価	達成率
(1) 結婚支援	31	婚活ツアー実施回数	回	2	2	2	2	2	10 (5年間)	D		10.0%
		カップル率	%	2	0	0	0	1	1 (5年間)	A		110.0%
	32	ライフデザイン講座開催数	回/年	2	3	3	3	3	3	C		66.7%
(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	33	一般不妊治療費助成制度利用 (申請) 件数	件	250	250	206	250	250	250	A		114.4%
		不育症治療費助成制度利用 (申請) 件数	件	10	10	10	10	10	50 (5年間)	B		80.0%
	34	あかちゃんのお世話教室満足度	%	96.4	97.3	95.0	100.0	100.0	100.0	B		94.4%
		はじめての子育て講座満足度	%	92.3	94.5	93.0	100.0	100.0	100.0	B		91.2%
		4か月児健診対象者の絵本とのふれあい実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	A		100.0%
		にこっとティータイム講座満足度	%	94.0	95.5	100.0	100.0	100.0	100.0	B		95.0%
		子育て支援センター利用者数	人日	51,700	54,000	45,659	46,000	54,000	54,000	B		83.4%
	35	ファミリーサポートセンター利用者数	人日	6,158	6,194	6,270	6,270	6,270	6,270	A		112.6%
		4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	人	2	2	1	0	0	0	A		100.0%
	36	児童クラブ利用者数	人	2,196	2,307	2,546	2,589	2,641	2,641	B		96.3%
		通訳・翻訳件数 (子ども未来部所管)	件	1,400	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	C		74.9%

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）		単位	計画策 定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
					H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	評価	達成率	
(3) 教育の充実	38	市学力調査 ・授業を理解している割合	小学5年生	%	<div></div> <div>国語 90.1</div>	90.0	90.0	89.0	89.0	90.0	B	99.1%	
					<div></div> <div>社会 87.0</div>	—	86.4	84.6	86.8	89.2			
				%	<div></div> <div>算数 86.4</div>	87.6	88.2	89.0	89.0	90.0	—	—	
					<div></div> <div>理科 90.6</div>	—	—	実施なし	実施なし	実施なし			
			中学2年生	%	<div></div> <div>国語 86.6</div>	86.4	87.3	89.0	89.0	90.0	B	93.7%	
					<div></div> <div>数学 81.4</div>	—	85.0	78.1	78.1	84.3			
				%	<div></div> <div>理科 81.2</div>	90.0	90.0	89.0	89.0	90.0	—	—	
					<div></div> <div>英語 74.5</div>	—	—	90.4	90.4	実施なし			
		全国学力調査 ・授業で、課題の解決に 向けて自分で考え、自分 から取り組んでいる割合	小学6年生	%	<div></div> <div>79.4 (R元年度)</div>	85.0	85.0	84.0	84.0	85.0	A	105.4%	
					<div></div> <div>75.8 (R元年度)</div>	—	81.9	81.4	84.2	89.6			
			中学3年生	%	<div></div> <div>79.2</div>	80.4	81.6	84.0	84.0	85.0	—	—	
					<div></div> <div>81.2</div>	82.2	82.9	84.0	84.0	85.0			
	39	全国学習状況調査 ・授業のICT活用状況 （学級週1回以上）	小学校	%	<div></div> <div>88.3</div>	82.0	82.8	84.0	84.0	85.0	B	95.8%	
					<div></div> <div>85.7</div>	—	—	73.9	73.9	実施なし			
	中学校		%	<div></div> <div>76.6</div>	76.6	78.7	84.0	84.0	85.0	—	—		
				<div></div> <div>79.4 (R元年度)</div>	—	—	実施なし	実施なし	72.5				
	40	全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業は好きだ（肯定回答割合）	%	<div></div> <div>53.7 (R元年度)</div>	80.6	81.7	84.0	84.0	85.0	B	97.1%		
				<div></div> <div>65.5 (R元年度)</div>	—	80.6	75.1	72.7	82.5				
		全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業はよく分かる（肯定回答割合）	%	<div></div> <div>79.6</div>	76.7	77.5	85.0	79.0	80.0	A	104.8%		
				<div></div> <div>88.3</div>	—	85.7	82.7	82.7	83.8				
		41	学校図書館を活用した授業 実施数 （1学級あたりの年間時 数）	小学校	時間	<div></div> <div>25.6</div>	79.6	93.0	95.0	95.0	100.0	B	97.0%
						<div></div> <div>6.4</div>	—	87.9	81.9	87.9	97.0		
			中学校	時間	<div></div> <div>14.6</div>	45.8	91.5	95.0	95.0	100.0	B	92.8%	
					<div></div> <div>16.0</div>	—	85.7	78.5	78.5	92.8			
			前項目のうち学校司書 （学びのサポーター、読 書ヘルパー）が授業に関 わった割合	小学校	%	<div></div> <div>15.7</div>	56.0	58.3	63.0	63.0	65.0	—	—
						<div></div> <div>16.8</div>	—	—	回答項目な し	49.0	回答項目な し		
		学校司書（学びのサポーター）配置割合 （配置校／全校）	%	<div></div> <div>17校/ 48校</div>	68.4	71.3	77.0	77.0	80.0	—	—		
	<div></div> <div>20校/ 44校</div>			—	—	回答項目な し	58.9	回答項目な し					
	42	不登校児童の割合	%	<div></div> <div>2.08</div>	20校/ 44校	23校/ 44校	23校/ 47校	23校/ 47校	30校/ 44校	B	98.9%		
				<div></div> <div>2.06</div>	2.06	2.04	2.78	2.38	1.98				
	43	支援生徒数	人	<div></div> <div>—</div>	2.08	2.64	3.18	4.08	5.01	5.03	D	39.4%	
				<div></div> <div>50</div>	50	50	56	60	280 (5年間)				
	44	日本語指導期間1年以上の児童生徒の日本 語能力ステージの向上割合（日本語指 導1年の児童生徒の1年経過後の日本語能 力ステージの向上）	%	<div></div> <div>69.0</div>	50	52	56	60	60	278 (5年間)	B	99.3%	
<div></div> <div>71.2</div>				71.2	75.4	83.0	84.0	85.0					
45	アプローチカリキュラム 策定率	保育所	%	<div></div> <div>58.0</div>	71.2	75.4	83.0	84.0	85.0	A	111.8%		
				<div></div> <div>81.0</div>	82.7	80.1	82.9	91.3	95.0				
	幼稚園	%	<div></div> <div>97.6</div>	66.4	74.8	85.0	90.0	100.0	B	96.3%			
			<div></div> <div>96.9</div>	69.1	78.5	85.7	96.0	96.3					
	保幼小交流の日参加率	%	<div></div> <div>99.8</div>	84.8	88.6	100.0	100.0	100.0	A	100.0%			
			<div></div> <div>99.7</div>	84.0	100.0	100.0	96.0	100.0					
そだちの応援シート回収率	%	<div></div> <div>99.8</div>	97.6	98.2	100.0	100.0	100.0	B	93.3%				
		<div></div> <div>99.9</div>	—	—	89.3	91.5	93.3						
イ ス フ の 推 パ ク 進 ラ ン	46	ワーク・ライフ・バランスに関する企業 や市民に向けた講座の開催数	回/年	<div></div> <div>1</div>	99.8	99.8	100.0	100.0	100.0	A	100.0%		
				<div></div> <div>5</div>	99.9	100.0	99.9	99.9	100.0				

※No38 市学力調査において、社会・理科の調査が実施されていないため実績値未確定

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
4 2	1 2	1 8	3	3	6

(1) 結婚支援

③① 婚活ツアー実施回数・カップル率〔評価：D・A〕

コロナ禍をきっかけに、県外女性が来雲する婚活イベントは、コストや遠距離恋愛になる可能性が高いことを踏まえ、本市単独での実施を取りやめました。その結果、目標値を下回りました。

令和5年度から従来のツアーの形を変え、同じ趣味同士で盛り上がる「趣味コン」や、グループで料理を作るなど協働作業を行う「おいしい婚活」など、内容を工夫し、かつ低予算で費用対効果の高いイベントを開催しています。今後も、費用対効果を意識し、引き続きイベント開催に取り組みます。

(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

③③ 一般不妊治療費助成制度利用（申請）件数〔評価：A〕

令和4年度に制度の拡充をおこない、保険適用の不妊治療に要する費用に対して助成をしています。保険適用になったことで、治療へのハードルが下がったことや、治療に対して関心を持つ夫婦が増えたこと、また、医療機関への周知を実施したことで年々申請件数は増加しています。子どもを望む夫婦にとって、関心の高い事業であるため、治療開始を検討している夫婦に限らず、広く制度が認知されるよう周知を行います。

③⑤ 子育て支援センター利用者数〔評価：B〕

計画期間を通じて目標値を下回りましたが、少子化の中、周知などに取り組んだ結果、目標値の8割を越える実績値となりました。令和7年度に新設された類似事業「こども誰でも通園制度」の動向に注視しつつ子育て支援センターの果たすべき役割を整理し、特色ある取組を実施しながら、子育て世帯のニーズに対応していきます。

③⑥ 児童クラブ利用者数〔評価：B〕

児童クラブの利用者数は、核家族化や共働き家庭の増加によって、年々増加しています。一部校区で受入可能数を超える入会希望があり、未決定が生じました。今後は、社会福祉法人の参入等も含め、受入枠の更なる拡大のための対策を推進し、未決定者の解消に取り組めます。

③⑦ 通訳・翻訳件数〔評価：C〕

令和6年度は、通訳員が累計で3か月程度不在になる期間があり、その分、当該事業の通訳員による年間対応実績は目標値を下回りましたが、ひと月あたりの対応件数は目標値に相当しています。外国籍住民の生活に密着する行政手続き（乳幼児健診、幼稚園・保育所訪問相談、発達クリニック、窓口対応及び電話対応）について、通訳・翻訳のニーズは高いため、引き続き事業を実施します。

(3) 教育の充実

③⑨ 全国学習状況調査・授業のICT活用状況〔評価：B〕

ICT機器導入による効果的学習の推進については、教員間でICT活用能力の違いがあり、活用頻度に差が生じているため、目標を下回りました。

教員のICT活用については、ICT支援員を派遣してICT機器の活用サポートを行い、ICTの効果的な活用により教育の質の向上を図っていきます。

④① 学校図書館を活用した授業実施数〔評価：C〕

学校司書の配置については、当市では、学びのサポーターと読書ヘルパーという2種類の学校司書を配置しています。学びのサポーターは、読書ヘルパーが行う学校司書業務に加え、学校図書館を拠点とした児童生徒一人一人によりそう業務（居場所づくりや人間関係づくり、個別学習支援など）を担っています。

学校図書館を活用した授業については、学校間で活用に差がみられるほか、勤務時間の短い読書ヘルパーが配置された学校では、授業活用が少ない傾向だったため、目標を下回りました。今後は学校における図書館の活用を促進するほか、学びのサポーターの配置を計画的に進めます。

④② 不登校児童の割合〔評価：D〕

不登校児童の割合については、近年全国的に増加傾向にあり、本市でも増加傾向にあります。不登校改善に向けて、様々な施策を行っていますが、不登校の要因は多岐にわたり、個々に応じた取組が必要となります。

今後は、不登校相談員の適正配置、スクールソーシャルワーカーによる定期相談、学びの多様化学校の検討など、個々の状況に応じた総合的な不登校対策を推進し、学校や地域との連携を深め、きめ細かな不登校支援により、児童生徒が安心して学べる環境づくりを進めていきます。

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進

④⑥ ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催数

〔評価：A〕

雇用推進協議会等で多くの企業にチラシを配布し、PRすることにより、希望する企業が増え、計画期間における目標値（合計）25回に対し、実績は31回と上回りました。今後もさらなる推進に向け、事業を継続していきます。

基本目標（４）住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

数値目標	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90%
実績値	89.1%（令和5年度調査結果より）

【令和5年度市民満足度調査の概要】

- (1) 調査対象者 市内に居住する満18歳以上の者
(2) 調査数 4,000人
(3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送ウェブ又は郵送にて回答
(4) 調査結果 回答数1,410人（回答率35.3%）

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	計画策定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末		評価	達成率
心(1)なまちづくり	47	防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数	人・世帯		10,000	29,787	34,353	44,659	55,000		C	62.6%
				17,664	19,425	29,735	38,014	35,730	34,410			
(2)生涯現役のまちづくり	48	特定健診受診率	%		48.1	51.1	56.0	60.0	60.0		C	74.0%
				45.1	44.6	44.3	44.1	43.8	44.4 (R7.4時点速報値)			
		がん検診受診率	①胃がん検診（40～69歳）	%		5.6	6.7	10.0	10.0	10.0	D	59.0%
					4.5	2.3	3.0	5.4	4.7	5.9		
			②大腸がん検診（40～69歳）	%		34.5	38.4	50.0	50.0	50.0	D	54.4%
					30.6	24.9	24.5	36.8	35.4	27.2		
			③乳がん検診（40～69歳）	%		45.2	48.9	60.0	60.0	60.0	B	87.5%
					41.4	40.5	39.4	51.6	52.3	52.5		
			④子宮がん検診（20～69歳）	%		49.4	54.6	70.0	70.0	70.0	C	73.7%
					44.2	39.3	42.3	48.4	43.5	51.6		
			⑤結核・肺がん検診（40～69歳）	%		2.0	4.0	10.0	10.0	10.0	C	62.0%
					—	3.8	4.3	5.3	5.4	6.2		
	49	朝食を食べる子どもの割合	3歳児	%		—	1.8	98.0	99.0	100.0	B	97.0%
					96.9	3.4	2.5	97.4	97.7	97.0		
			小学6年生	%		—	0.4	92.0	95.0	100.0	B	88.9%
					99.3	—	0.8	89.3	86.5	88.9		
			中学3年生	%		—	0.4	92.0	95.0	100.0	B	88.3%
					99.2	—	1.2	87.8	85.8	88.3		
		食のボランティアの活動回数		回/年		330	330	284	312	330	A	110.9%
					300	209	261	295	370	366		
(3)共生のまちづくり	50	自動車改造費助成件数（操作系改造を行った15歳～65歳の方の件数）		件/年		10	10	10	10	10	B	90.0%
					4	6	2	7	12	9		
		自動車運転免許取得費助成件数		件/年		5	5	5	5	5	A	420.0%
					2	2	1	0	23	21		
	51	障がい者差別解消法における合理的配慮や”あいサポート”運動の普及啓発の出前講座受講人数		人/年		1,200	1,200	1,680	1,680	1,680	A	107.3%
					6,781 (H28～H30年度累計)	1,814	2,099	2,273	1,696	1,802		
	52	外国人住民の長期（5年以上）滞在者の割合		%		38.7	39.0	40.0	41.0	42.0	B	94.8%
					38.3	37.0	39.9	37.9	35.2	39.8		

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	計画策定 時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	評価	達成率	
(4) 中 山 間 活 性 化 地 域 の	53	小さな拠点づくりに向けた取組（現場支援地区の累計数）	地区	<div></div>	4	4	4	4	5	C	60.0%	
		3	3	3	3	3	3					
		過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年	No. 27と同様								
(5) 地域を支えるひとづくり	54	自治会加入世帯数	世帯	<div></div>	40,455	40,591	38,925	38,500	39,000	B	94.6%	
				40,318	39,427	38,888	38,396	37,571	36,908			
	55	コミュニティセンター利用者数	人	<div></div>	809,340	809,505	623,636	730,000	810,000	B	84.6%	
				809,175	474,858	527,386	553,933	664,429	685,215			
	56	市民協働事業の補助対象事業採択数	件/年	<div></div>	6	6	6	6	6	A	200.0%	
				5 (R元年度)	2	採択数5 交付数4	5	12	12			
	57	出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	人	<div></div>	10,000	10,000	7,915	11,360	11,360	C	78.4%	
				11,360	1,693	6,192	10,677	7,064	8,908			
		スポーツイベント市民参加者数	人	<div></div>	2,300	2,435	1,442	2,662	2,900	D	47.8%	
				2,125	399	714	1,300	1,115	1,387			
58	島根大学・島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	件	<div></div>	118	121	123	126	130	A	109.2%		
			114	116	119	118	118	142				
(6) 交通ネットワークの確保	59	山陰道「出雲・湖陵道路」進捗率	%	<div></div>	75.2	81.4	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	90.0 (湖陵・多伎道路と合算)	100.0 (出雲・湖陵道路と合算)	A	100.0%	
				69.0	80.0	74.0	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	100.0 (出雲・湖陵道路と合算)			
		山陰道「湖陵・多伎道路」進捗率	%	<div></div>	58.4	68.8	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	90.0 (出雲・湖陵道路と合算)	100.0 (出雲・湖陵道路と合算)			
				48.0	79.0	79.0	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	85.0 (湖陵・多伎道路と合算)	100.0 (出雲・湖陵道路と合算)			
	60	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	No. 9と同様								

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
23	6	8	6	3

(1) 安全、安心なまちづくり

⑦ 防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数 〔評価：C〕

様々な機会において、防災行政無線及びいずも防災メールの周知PRを行っていますが、防災情報入手手段の多様化により、防災行政無線の加入者は減少しており、目標を下回りました。引き続き、各地区での防災出前講座やホームページ、SNSなどを活用し、災害時、最大音量で放送し、持ち運びができる防災行政無線のメリットを紹介し、防災行政無線の加入促進を図ります。

いずも防災メールの登録者数は増加しており、また、令和7年度から多言語化を行っています。外国人住民の登録を促すため、引き続き、国際交流団体との連携、多文化共生イベント、外国人労働者派遣会社訪問などにより、周知を図ります。

スマートフォンの普及やデジタル化の進展により、防災情報伝達手段は多様化、多重化が進むなか、市民や社会のニーズを踏まえつつ、停電や通信障害など、災害時における様々な状況を想定したうえで、災害情報の提供に努めます。

(2) 生涯現役のまちづくり

④⑧ 特定健診、がん検診受診率〔評価：B・C・D〕

特定健診・がん検診の受診の推進については、WEBでの申込を取り入れ、受診しやすい環境を整える取組や未受診者に対し個別通知し受診勧奨を行いました。想定していたように対象者の行動変容につながらず目標を下回りました。今後は、休日セットがん検診や事業所検診との連携や、未受診者へのリマインド通知などを積極的に行い、受診率を上げる取組を行っていきます。

(3) 共生のまちづくり

52 外国人住民の長期（５年以上）滞在者の割合〔評価：B〕

多文化共生推進プランに基づく取組の推進については、外国人住民のための防災訓練や、合同企業説明会を行うなど外国人住民が暮らしやすいまちづくりに取り組みましたが、令和３年度から４年度にかけて、市内事業所の業況により、多くのブラジル人従業員が転出したことにより、目標を下回りました。

今後も「出雲市多文化共生推進プラン」に基づき取組を着実に進めていくとともに、外国人住民の安定した雇用の場の確保や子育て環境の充実に努めていきます。

(4) 中山間地域の活性化

53 小さな拠点づくりに向けた取組（現地支援地区の累計数）〔評価：C〕

地域課題解決に向け小さな拠点づくりに向けた取組を行っていますが、新しく「持続可能な地域ビジョン」を策定した地区は無く、目標を下回りました。人口減少や少子高齢化が加速する中、今後も引き続き、地域支援員を中心に地域住民が主体となって地域づくりを進める機運醸成を働きかけていくほか、地域に寄り添いながら、地域の課題解決に向けた支援を行っていきます。

(5) 地域を支えるひとづくり

54 自治会加入世帯数〔評価：B〕

自治協会等が取り組む加入促進や住民自治活動に対する支援については、自治会支援アドバイザー事業を実施し専門業者からアドバイスを受けましたが、市全体の自治会加入者数は高齢化による自治会の脱会及び新築住宅の自治会未加入が影響し、目標を下回りました。引き続き、自治会等の負担軽減に取組み、加入促進及び脱退防止を図っていきます。

57 出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数〔評価：C〕

スポーツイベント市民参加者数〔評価：D〕

出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数は、公演事業数の減(H30比▲４件)や、当初予定していた事業の中止(１件)により鑑賞機会や鑑賞者数が減少し目標を下回りました。

スポーツイベントは、一畑薬師マラソン大会の通常コースが、災害により通行止めとなっており、コース変更や参加者数を変更して開催したことや、ツーディウォークの斐川町での開催がなくなったことが影響し、目標設定時に比べ参加者数が減少し、目標を下回りました。

事業の評価・検証等を常に行い、参加者（観覧者）が参加（鑑賞）しやすく、参加（観覧）したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努めます。

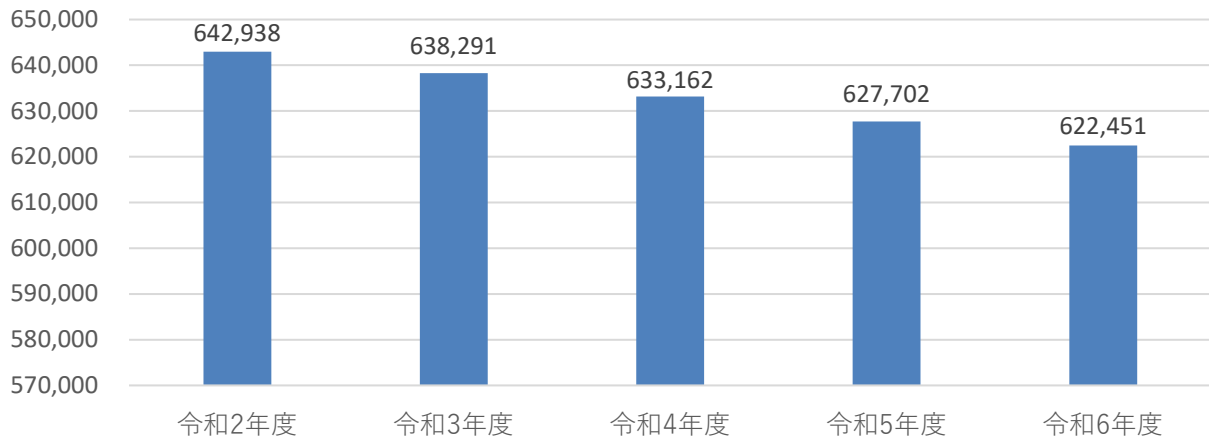
(6) 交通ネットワークの確保

59 山陰道進捗率〔評価：A〕

概ね計画通りに事業が実施され、計画通り令和６年度中(令和７年３月２日)に開通しました。

基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標	中海・宍道湖・大山圏域人口 ６０万人の維持
実績値	６２．２万人（令和７年３月末 住民基本台帳人口）



＜実績内訳＞

（単位：人）

市町村名	令和2年度末 人口	令和3年度末 人口	令和4年度末 人口	令和5年度末 人口	令和6年度末 人口	R6-R2 増減数
出雲市	174,708	174,226	173,136	172,455	171,809	▲ 2,899
松江市	199,889	198,330	196,748	194,814	193,135	▲ 6,754
安来市	37,512	36,857	36,138	35,625	34,881	▲ 2,631
米子市	146,680	146,108	145,348	144,123	143,192	▲ 3,488
境港市	33,433	33,011	32,774	32,525	32,159	▲ 1,274
日吉津村	3,558	3,589	3,615	3,589	3,611	53
大山町	15,822	15,474	15,223	14,904	14,655	▲ 1,167
南部町	10,580	10,400	10,337	10,213	10,025	▲ 555
伯耆町	10,740	10,553	10,384	10,270	10,090	▲ 650
日南町	4,350	4,212	4,081	3,965	3,824	▲ 526
日野町	2,929	2,880	2,782	2,702	2,609	▲ 320
江府町	2,737	2,651	2,596	2,517	2,461	▲ 276
合計	642,938	638,291	633,162	627,702	622,451	▲ 20,487

中海・宍道湖・大山圏域人口は、６０万人を維持していますが、圏域人口は減少傾向が続いており、継続した取組が必要です。

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	計画策 定時	上段：目標値、下段：実績値						令和6年度	
				H30年度	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末		評価	達成率
(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした 広域連携の推進	61	ビジネスマッチング商談件数	件		680	680	680	680	3,400 (5年間)		D	54.2%
				651	318	263	479	438	1,843 (5年間)			
	62	圏域での外国人観光客宿泊数	千人泊		207	270	333	350	459		D	22.0%
				146	11	8	11	71	101			
	63	圏域での国内観光客宿泊数	万人泊		413	418	423	429	433		C	79.2%
				408	327	239	280	334	343			
	64	観光消費額	億円		1,064	1,088	1,112	1,143	1,160		C	75.3%
				1,040	820	599	700	846	874			
	65	免税店登録店舗数	店舗		160	175	190	205	220		C	76.4%
				145	146	142	148	168	168			
	66	圏域内への移住者数	人		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000		B	97.7%
				3,543	3,046	3,084	2,904	2,930	2,932			

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
6	0	1	3	2	0

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした広域連携の推進

62 圏域での外国人観光客宿泊数〔評価：D〕

コロナ禍で落ち込んだ観光客も、コロナ禍が明け、徐々に回復していますが、目標値は下回りました。

欧米豪については、依然として圏域の認知度が低い状況にあり、今後ターゲットを絞って、確実に来訪者数を伸ばしていく取組を実施していきます。東アジア圏は、米子空港直行便の回復・本数増加に伴い誘客が好調であり、今後も誘客を促進する取組を実施していきます。